

令和4年度 活動報告

令和4年度においては、コロナ禍のため若干の収入減はありましたがそれほど大きな影響を受けていません。しかし、ここ数年は堆肥化プラントのハウスや作業用の設備・機械類、特に大型フォークリフトや大型攪拌機等が古くなり修理費などの維持管理費が嵩み、支出高となっておりますが、日頃の管理の大切さを痛感し、点検と補修管理を目標に今年度も実践した所、最小限の経費に抑えることができ多少の黒字となりました。

令和4年度の活動と成果は下記の通りです。

1 小学生への環境教育

- ・伊万里・大坪・二里小学校の4年生と立花小学校の3年生の約300名に対して、佐大農学部の染谷教授の協力を受け、例年通り環境教育プログラムを実施しました。

2 菜の花プロジェクト活動の推進（いまり菜の花の会との協働事業）

- ・いまり菜の花の会の協力を受け、環境杯グランドゴルフ大会「生ごみを宝に！地域を菜の花色に」を毎年開催し、秋の大会の希望者には菜の花の苗とはちがめ堆肥を配布しました。
- ・市内の全保育園(23園)に菜の花の苗とはちがめ堆肥を配布し、6月には市民図書館で園児の菜の花図画展を開催。菜種油は給食に活用して食育を推進し、並行的に市民の皆さんには環境啓発を目指しました。

3 生ごみ提供事業所の会員増およびステーション増設活動

- ・今年度は2店の会員増となりました。市民の生ごみステーション増設活動は今年度も引き続きあさひが丘団地でモデル事業を実施しました。

4 農産物直売所「風道」の生産農家の拡大と堆肥の販売増

- ・農家会員増を目指しましたが、思うような拡大には至りませんでした。
- ・堆肥の方は、品質向上により販売先が武雄、有田、多久、佐賀大和の他 佐世保、平戸、波佐見等の篤農家にも拡がり知名度も年々高まっています。

5 本年度の生ごみ分別回収と資源化による社会への貢献（SDGs）

- ・一般廃棄物（事業系 338+家庭系 37） 375 トン・産業廃棄物 73 トン・廃食油 114570
- ・生ごみ 375 トンの資源化は伊万里市のごみ焼却費約 1,197 万円相当の節約
（事業系 338 トン+家庭系 37 トン+廃食油 11 トン）×市の負担金 31,000 円/トン
（本市の令和元年度ごみ焼却費トン 31,000 円で試算）
- ・CO₂の発生抑制は約 942 トン（448 トン+廃食油 11 トン）×2.0513 トン（CO₂）=941.55 トン
※標準的な生ごみ1トンを収集運搬・焼却の従来通りの処理方法で処理すると、CO₂が2.0513トン排出されます。

（財）省エネルギーセンター